

令和7年度 えりも高校 第2回授業評価アンケート結果分析

アンケート実施期間：1月19日～1月30日

質問項目（各教科・科目共通）

先生に関する項目	①	授業の目標・課題設定がわかりやすい。
	②	板書やプリント・PCの文字、先生の説明・指示や声量・話す速度などがわかりやすく、整理されている。
	③	授業の内容や難易度は自分に合っている。
	④	ペアワークやグループワークなど対話的活動により、自分で考えたり発表したりできるような授業である。
	⑤	どのように評価されるか説明している。
	⑥	内容や疑問点について振り返る時間があり、伝えやすい。
生徒自身に関する項目	⑦	話を聞く姿勢を取るなど、ふさわしい態度で学習している。
	⑧	授業に積極的・主体的に参加している。
	⑨	分かりやすく発表したりまとめたりすることができている。
	⑩	この授業を通して、その科目に関する考え方が深まった。
	⑪	この授業を通して、知識や技能の向上を実感している。
授業についての記述欄		授業に関して特に学びを得たと思うことを記入してください。
		授業に要望があれば記入してください。

○生徒の評価

4～1の段階で評価する。

4	そう思う。
3	どちらかというと思う。
2	どちらかというと思わない。
1	思わない。

○評価の段階

生徒の評価の平均を以下の評価とする。

3.5～	A評価
3.0～3.5	B評価
2.5～3.0	C評価
～2.5	D評価

教科（国語科）
① 評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
①「授業の目標がわかりやすい」⑧「授業に積極的・主体的に参加している」の項目が高かった。その単元、その時間のゴールが伝わり、生徒も授業に参加しやすくなったと思われる。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
前期と比べると改善は見られたが、相対的には④「ペアワークやグループワークなど対話的活動により、自分で考えたり発表したりできるような授業である。」「⑨分かりやすく発表したりまとめたりすることができる」に関して評価が低い。ただ、グループワークや発表の機会を増やすだけでなく、知識を身につけたうえで、活動を取り入れるようにしていきたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動
アンケートには表れないような生の声を聞き、即時改善を心掛けたい。

教科（地歴公民科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
どの学年についても、「授業の目標がわかりやすい。」や「どのように評価されるか説明している。」の評価が高い。生徒にとって見通しがつきやすく、モチベーションの向上につながっていると考えられる。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
どの学年についても、「授業の内容や難易度は自分に合っている。」の評価が低い。難易度が高いという意見が見られる。生徒理解に努め授業構成の見直しや内容の選定を行う。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動
定期的に振り返りやフィードバックを行い、知識理解や学習の定着を図る。

教科（数学科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
どの学年についても「どのように評価されているか説明している。」の項目と「授業に積極的・主体的に参加している。」の項目が特に高かった。家庭学習が成績に加味され、確認テストの点数にも直結するため、家庭学習の推進とモチベーションの向上につながっていると考えられる。今後も継続していきたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
昨年度同様、「分かりやすく発表したりまとめたりすることができている。」の項目の評価が低かった。しかし数学科として、互いに学び合う機会を積極的に設けることを優先して指導を行っているため、「授業に積極的・主体的に参加している。」の項目も同様に高くなっていると考えている。 「授業の内容や難易度は自分に合っている。」の項目は低い傾向にある。各科目の難易度が上がったことに加えて、それまでに学習した知識の定着度合いに課題があると予想される。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動

教科（理科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
どの学年においても全体として高い評価となっている。特に、「授業に積極的・主体的に参加している」の項目が高かった。教材教具に関する研究は今後も続けていきたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
「分かりやすく発表したりまとめたりすることができている。」の項目の評価が低かった。実験の考察や自分の考えをまとめ、全体に発表する活動などを行っていきたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動
探究の過程を取り入れた授業を取り入れていきたい。

教科（保健体育科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） 全学年C評価がなく、全体的にA評価が多い結果となった。体育では、技能の向上だけでなく、体を動かす楽しさを感じている生徒が多かった。生徒の実態に応じたアプローチや単元計画の工夫をしたことが高い評価に繋がっていると考えられる。今後も実態に応じたアプローチや、授業規律の徹底を継続していく。
② 評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） C評価の項目はなかったが、「授業の内容や難易度は自分に合っている」、「分かりやすく発表したりまとめたりすることができている」、「この授業を通して、その科目に関する考え方が深まった」の評価が低い科目があった。今後は、単元計画の工夫や授業のフィードバックから授業改善に努めていく。さらには技能の向上を目指して生徒同士で交流する機会を増やしていく。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 来年度入学生からは、熱中症対策としてハーフパンツを全員購入する。2・3年生は体育の授業中は自前のハーフパンツを可とするが、全学年共通して廊下や日常生活に戻る際には指定ジャージを着用するように指導する。冬季中、パーカーやトレーナーを着用する場合は、指定ジャージの上に羽織るのみとする。日課中も合わせて、スポーツネックレスは「装飾品」として扱うため使用不可。※生徒指導部の共通理解参考

教科（英語科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） どの学年も前期よりも評価が向上した。夏休み明けからいずれの学年も習熟度によるクラス分けを行い、教員三人による展開授業を行ったことによるものと考えられる。継続していく。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） 授業の目標と、目標達成のため、どんな取り組みをしていくか積極的に生徒に伝えていく必要がある。また、振り返りの時間が十分に取られていないと感じているため、リフレクションシートの活用や振り返りの時間などを意識して取り、次の学びに繋げていきたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 英語科の三人体制を生かし、今後も基本的には習熟度による三展開授業をしていく。

教科（家庭科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動） ・全学年とも全体的に評価が高かった。生徒の興味関心を引き出しながら、将来に役立つ知識技能を身につけさせていきたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動） ・1年生では、「分かりやすく発表したり、まとめたりすることができている」という項目が3.5と、他の項目に比べやや低かった。グループワークやICTツール等を活用し、意見や情報の整理・表現する機会を増やしていきたい。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動 ・「実習を通して技術が向上した」、「また実習を行いたい」などの意欲的なコメントが見られたため、実習や外部とつながる機会を増やしていきたい。また、継続して実施している実習等についても、より有意義な活動となるよう工夫していきたい。

教科（情報・商業科）
①評価が高かった項目について（結果分析、あるいは今後も続けていきたい活動）
・全学年とも全体的に評価が高かった。 ・実技実習だけでなく、生徒自身が商業的な見方考え方できるように理解を促していきたい。
②評価が低かった項目について（結果分析、あるいは今後改善するための活動）
・グループワークに関する項目が低い傾向にあるため、対話活動について「ペアワークをふやす」「対話が苦手な生徒への手立て」等を念頭に置いて授業の組み立てをしていく。
③その他に気付いた点や、今後行う予定の活動
・働くうえで、必要になるという動機付けができるので、積極的な生徒が多い。 ・基礎的な知識の定着は徹底したうえで、対話活動につなげていきたい。